

府中市健康地域づくり審議会
第18回次世代創造分科会 報告書

- 1 日 時：平成30年2月14日（水） 13：30～15：00
- 2 場 所：府中市役所2階 第一応接室
- 3 出席者：谷 秀 樹（分科会会長） 板 橋 千代美（分科会副会長）
山 路 ヒロコ（分科会委員） 吉 原 純（分科会委員）
宗 藤 正 典（分科会委員） 藤 井 敬 子（分科会委員）

4 概 要

- (1) 開 会
- (2) 分科会長あいさつ
- (3) 報 告
 - ① 報告1 新しいPOMの進捗状況について
- (4) 議 事
 - ① 議事1 「リョービ保育園」の設置認可について
 - ② 議事2 「院内保育所おひさま」の設置認可について
 - ③ 議事3 平成29年度事業進捗（目標成果管理シート）
 - ④ 議事4 平成30年度実施事業案（目標成果管理シート）

以下、主な質疑及び意見等

【報告1】新しいPOMの進捗状況について

質 問 子育て世代活動支援センターというものはもともとあるのか。

事務局 一時預かり室に預けて、子育て世代が経済活動をまちなかで行う体制を支援することを主目的として運営をはかる。また、これは法令上の名称ではない。

【議事1】「リョービ保育園」の設置認可について

【議事2】「院内保育所おひさま」の設置認可について

質 問 利用者にとって何か変化はあるのか。またメリットは。

事務局 事業所内保育を実施するときは地域枠を設けなければならないため、若干定員等が変わるが、低年齢児の希望も多く、市民にとって受け入れ枠が増えることはメリットである。

【議事3】平成29年度事業進捗（目標成果管理シート）

意 見 次世代の親づくり事業については、2及び3年生の2年間にわたってしてはどうか。評価基準については、3年生時点での結果を評価基準にする方が成

果ととらえられるのではないか。

意見 次世代の親づくり事業については、大人がまず聞いて意識改革を行い、家庭内を安定させることが大切ではないか。

意見 女性活躍推進応援事業については、女性対象のスキルアップを目的とした研修をしてもいいのではないか。

意見 この働き方改革セミナーに参加したが、大変面白かった。またこの講師の話を聴きたいと思った。

意見 女性活躍というと仕事と家庭の両立をする女性を指し、専業主婦の方の中には引け目を感じる人もいる。しかしそうではなくて、男性も女性も置かれた状況の中で頑張っている人がいるということが伝わるのが大切だと思う。

質問 子育て訪問サポート事業については、目標20件というのは、年間20件しか対応できないということか。

事務局 新生児訪問をした段階で、妊娠中から関わっていればよかったというケースが30件くらいあったとして、そのうち20件位は対応できるのではないかと逆算して出している。

【議事4】平成30年度実施事業案（目標成果管理シート）

意見 支援を必要としている子どもはたくさんいる。例えば保健師が保育所を定期的に訪問するなど、府中市だからできるネウボラ、支援の形を考えていくことも良いと思う。

事務局 ネウボラの基本は敷居を低く誰でもというのが基本。事務局もそのことを認識してやっていく。

意見 子育てに困ったときにここに連絡したらいいというカードのようなものがあればよい。

意見 放課後児童クラブについては、地域の人にボランティアとして加わっていただいて何かするなど、より有意義な時間にできないか。

意見 4月1日から入学式までの間、預ける先がなくて本当に困っている親がいる。

(5) 事務連絡

(6) 閉会 分科会副会長あいさつ